

グローバル教育研究推進機構 (Global Education and Research Office)

【グローバル教育研究推進機構の目的】

大学の資源を活用しつつ、国内外の連携機関との関係を強化し、グローバル教育研究を推進する。

- ・グローバル教育の効果等を検証し、教育の質の向上に向けた取組みを推進すること。
- ・グローバルな教育研究プロジェクトを推進し、優秀な人材を世界に輩出すること。
- ・学生に対して、多様な留学の機会を提供すること。
- ・国内外の連携機関とのネットワークを強化すること。

グローバル教育研究推進機構

グローバルプロジェクト推進部門

・補助事業（OQEANOUS、JCK）を推進し、本プログラムの成果を踏まえ、優秀な人材（大学院生）を世界に輩出する。また、新規プロジェクトの獲得も検討する。

グローバル人材育成部門

・学部学生に対して、TOEIC等の英語教育を推進しつつ、その効果を踏まえ、学生に対して多様な留学の機会を提供する。

グローバル交流推進部門

・国内外の機関（JICA・大学・企業・高校等）と連携し、グローバルな教育に向けた協定校との諸活動に対する支援を実施する。

平成29年度まで各プロジェクト等の実績を活かすため、3部門が効果的に連携し、各部門での取組を推進する。

なお、部門においては、部門長を中心として各取組を推進するため、教員及びコーディネーター等でチームを編成する。

※各部門の共通目的として、グローバル教育における質を保証を検討する。

国際交流推進室(平成28年度設置)

グローバル教育研究推進機構

各部門の取組(課題)等から次の目的を実施する
**グローバル教育の効果等を検証し、
教育の質の向上に向けた取組みを推進**



各部門は、事業実施において連携するとともに、課題を各部門へフィードバックする。

グローバルプロジェクト推進部門

プロジェクトによって、実績を踏まえた先進的な取組みを実施

グローバル人材育成部門

基盤となる英語教育の実施、検証及び多様なプログラムによる留学の機会を提供

グローバル交流推進部門

プロジェクト以外の協定校との諸活動における支援を実施

グローバル教育研究推進機構での人材育成



大学院生

単位互換プログラム（OQEANOUS）等の専門性の高いプログラムに参加

学部学生(3,4年生)

本学学生が取組みたい研究テーマあるいは目指す就職先にマッチした海外大学での研修プログラムへの参加

学部学生(1,2年生)

海外企業での研修、日本における海外学生との合同企業研修や高大連携活動等に参加

多くの者に機会を提供するとともに、計画的にグローバル人材を育成する。

※大学院に進学しなくても、各研修での実績は就職等で有効に活かされる。